

平成26年度第2回箕面市廃棄物減量等推進審議会 会議要録

開催日時	平成27年1月28日(水) 9:30～11:30
開催場所	箕面市役所 2階 特別会議室
出席委員数	10名
欠席委員数	3名
傍聴者数	0名

・ 案件

【案件1】 ペットボトルの全戸収集について(報告)(資料1)

【案件2】 ごみ処理施設基幹改良事業について(報告)(資料2)

【案件3】 その他(報告)

(1) 堆肥化事業について(資料3)

	<p>【案件1】ペットボトルの全戸収集について(報告)</p> <p>・事務局説明</p> <p>【主な質疑応答】</p>
委員	<p>4月からペットボトルの全戸収集ということであるが、あまり周囲には知られていないように思うが、これから積極的な告知をするのか。</p>
事務局	<p>12月号の広報に掲載している。また、2月号及び3月号広報でもう一度大きく取り上げて掲載する予定である。</p>
会長代理	<p>「ペットマーク1」の文言は適切ではないが、この表現は正しいのか。</p>
事務局	<p>表現は修正する。</p>
委員	<p>ペットボトルはかさばるが、市としては戸別で出すのがいいのか。また、店舗等に出すのがいいのか、どちらがいいのか。</p>
事務局	<p>スーパー・コンビニは2週間に1回収集している。一人平均では、1日当たり4本の使用である。通常のかごにはペットボトルを足で踏んでもらうと25本程度がはいる。市としては、戸別または店舗等、どちらに出しても回収するため、どちらでもいい。</p>
委員	<p>ペットボトルについている帯にマークがついているが、出してもいいのか。</p>

事務局	ペットボトル等に明記してあれば出してもらいたい。
委員	ペットボトルのキャップは有効なリサイクルになるのではないのか。
事務局	<p>ペットボトルのキャップは学校などでも収集しているが、調査した結果、リサイクルをしても、収集して運送費も考えると、トータルコストで負担が発生する。</p> <p>箕面市内にはキャップの工場もあると聞いているが、市としてはその他のプラ収集はやめると決定しており、その他プラであるキャップを別途集めることはできない。燃えるゴミとして処理する。</p> <p>なお、学校等でのキャップリサイクル活動について、否定するものではない。</p>
委員	<p>ペットボトルの出し方について、もう少し具体的に教えてほしい。</p> <p>また、かごで出す場合は各家庭にかごを配って出すのか。かごが置いてあってそこにに入れて出すのか。具体的に教えてほしい。</p>
事務局	空き缶・空き瓶の収集日に各家庭でかご容器に入れて出されている。そのかごを活用してペットボトルを入れて出してもらう。
委員	ペットボトルは嵩張るので、捨てやすい効率のいいペットボトル専用袋を考えてはどうか。
事務局	ペットボトルの出し方については9ヶ月間のモデル収集の結果、最善の方法としてかご容器に入れて出していただくように、条例でペットボトルの出し方について規定したのでご了解いただきたい。
委員	袋で出せる等、今後改良を考えてほしい。
会長	運用しながら改善を考えてもらいたい。
委員	卵パックもペットボトルの収集に出していいのか。
事務局	卵パックはペットボトルではなく、その他のプラスチック容器になるため、燃えるゴミとして出していただきたい。
委員	ペットボトルの収集は、第1・第3と第2・第4で間違いないか。
事務局	そのとおりで、大型ごみ・危険ごみの日に市内を10分割して収集する。

会長	<p>参考までに以前学生にどれくらいのペットボトルを飲んでいるのか調べてみたら、年間約20万円かかっているということで、そのことを学生に伝えたらマイボトルへ変更した。ペットボトルを使わない方向が本来の方向とも言えるのではないかな。</p> <p>【案件2】ごみ処理施設基幹改良事業について(報告)</p> <p>・事務局説明</p> <p>【主な質疑応答】</p>
会長代理	<p>循環型社会形成推進地域計画書はホームページに公開しているのか。</p>
事務局	<p>現在、国に提出している状態であるので、公開はできる状態にない。</p>
事務局	<p>国で認可されれば、環境省のホームページ内に公開される。</p>
委員	<p>長寿命化とは。</p>
事務局	<p>長寿命化はごみ処理施設の基幹部分を更新し、向こう15年間現処理施設の安定稼働を目指すものである。</p>
委員	<p>工事期間中施設は動くのか。</p>
事務局	<p>工事期間中は、2炉のうち1炉を使用しながら、業務に支障を来さないように1炉ずつ改修していく。</p>
	<p>【案件3】その他(報告)</p> <p>(1) 堆肥化事業について(報告)</p> <p>・事務局説明</p> <p>【主な質疑応答】</p>
委員	<p>現在の堆肥化事業の採算性はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>未だ販売に至っていない。現在、堆肥は無料で、学校・農業公社・イベント時に配布をしている。袋売りでいくらで売るか、販売に見合うだけの商品ができるか、など。検討をしてきたので、商品化するために今回モニターを募集し広く意見をいただき、現在販売に向け検討している。</p>
委員	<p>まだ初期の段階であり、今後どうしていくのかということか。</p>
事務局	<p>まだ入り口のところだが、現状を報告している。</p>

委員	採算がとれるのは平成30年と書いてあるが、それぐらいの時期か。
事務局	平成27年度に機器を購入し、その償却費及び人件費を試算して採算がとれるように、販売してくれそうなところ例えば農業公社・農協等に働きかけをしている。
事務局	資源の活用という点から事業を継続していきたいと考えているが、採算性がとれるかどうか、まだ未知数である。平成27年度から販売してみてもどの程度採算がとれるか。平成28年度以降の継続するかについては、判断する必要がある。
委員	採算がとれなくても市民にとっていいことなので、そこを検討してほしい。
委員	この作り方だと完全有機肥料の作り方か。
事務局	材料は保育所・小中学校の給食残渣と剪定枝をチップ化したものだけを利用して作っている。また、農協や農業公社に渡し販売を検討している。
会長	学校の先生には、給食残渣を有機肥料に活用している旨伝えてあるのか。
事務局	学校の授業の中で紹介している。
会長	他にご質問等は、あるか。 特にないようなので、今日の審議会は終了する。 次回の日程をお知らせ願いたい。
事務局	次回の案件等は未定であり、決まり次第ご案内する。
会長	以上をもって、平成26年度第2回箕面市廃棄物減量等推進審議会を終了する。